



平成 26 年 3 月 24 日

各 位

会社名 三菱重工業株式会社
代表者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上場取引所 東 名 福 札
問合せ責任者 社長室広報部長 中山 明彦
(TEL03-6716-3111)

客船事業における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期連結決算において、客船事業における特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 損失発生の原因について

平成 23 年 11 月に受注したアイダ・クルーズ向け大型クルーズ客船 2 隻（注）については、これまでの客船建造実績を踏まえ、必要な対策を迅速に実施するプロジェクト遂行体制を構築して取り組んでまいりました。また、本船はアイダ・クルーズブランドの 1 番船(プロトタイプ)となる次世代省エネ客船との認識を持ち、時間をかけて事前検討を進めてまいりました。

しかしながら、実際の建造段階における作業進捗に伴い、プロトタイプの客船建造の困難さが顕在化し、またホテルパート等の設計作業が膨大となり、更には大幅な設計変更により、結果として設計作業の遅延が生じました。このことが設計費の増加のみならず、その後の資材調達や建造工程などに悪影響を及ぼし、コスト悪化に繋がりました。

2. 損失の計上について

上記のような状況下、多額の工事損失の発生が見込まれることが判明したため、当該損失を「客船事業関連損失引当金」に繰入れ、同繰入額を特別損失として計上することといたしました。金額は現在精査中ではありますが、平成 26 年 3 月期連結決算において、2 隻合計で 600 億円程度の特別損失を計上する予定です。

3. 今後の見通し

平成 26 年 2 月 6 日の決算発表時に公表した平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の全社業績予想については、現時点では変更はない見込みですが、今後修正の必要があると判断した場合には、速やかに公表いたします。

以 上

注：当社は、平成 23 年 11 月にクルーズ客船会社、カーニバル社（Carnival Corporation & plc）の欧州法人であるコスタ・グループ（COSTA Group）傘下のアイダ・クルーズ（AIDA Cruises）向け大型クルーズ客船 2 隻の建造を受注いたしました。受注したクルーズ客船は、12 万 4,500 総トン、約 3,300 人乗りで、平成 25 年 6 月から 1 番船の建造に着手しております。